

みんなのた場



親子応援「キッズホーム」
誰でも楽しく利用

135 どんぐりの会

子育て中の親や家族が安心して楽しく子育てできる「心のよりどころ」を目指して運営されているのが、桃生子育て支援センター「キッズホーム」です。そして、それを支えるのがボランティア団体「どんぐりの会」(佐藤伸子会長)です。

子どもたちがおもちゃで遊んだり、絵本を読んだり自由に過ごせるフリースペース「キッズホーム」では、月曜日・金曜までの午前9時30分〜午後3時まで、親子を受け入れています。コロナ禍のため、1日6組を上限

に事前に申し込みをしていただいています。利用時間は各組1時間、その後30分のインターバルを設け、空気の流れ替えやおもちゃの消毒などをして万全を期しています。

どんぐりの会の会員は現在14人。ほとんどが桃生地区在住の皆さんです。地域で活躍中の子育てボランティア、民生・主任児童委員、食生活改善推進員、更生保護女性会などさまざまな団体に所属している方々が子どもの見守り、お母さんたちの相談に乗っています。

会員の佐藤加代子さんは25年目のベテラン。子どもたちの安全のために隔々まで目を行き渡らせており、「みんな孫みたいでかわいいね」とニコニコ顔。渡邊きぬよさんも「子どもたちといるのが楽しい」と目を細めて話してくれました。

指導員の蜂谷洋子さんは「子どもが安心して遊べるということはお母さんたちも安心して時間を過ごせるといいこと。大変な子育ての中、ほんのひと時でも安らいでくれれば」とキッズホームの意義を強調しています。

本年度は5月24日(火)に「はじまりの会」、7月12日(火)には「たなばた会」などコロナ対策を講じながら行事を開催する予定です。妊婦さんには紙おむつをプレゼントしています。問い合わせは、桃生子育て支援センター「キッズホーム」(☎76-4521)へ。



室内遊具で遊ぶ子どもたち



イベントでは楽しい出し物も

ささえあいセンター通信 ⑧

石巻市地域福祉計画

「いつも自分らしく生きるためにみんなで支え合う地域づくり」

地域福祉計画は、人と人のつながりを意識して、「顔の見える関係づくり」、「共に生きる地域づくり」を目指し、「地域住民の支え合い、助け合いによる福祉(地域福祉)」を推進するため、社会福祉法に基づき策定するものです。

市ではこれまで個別に策定していた石巻市地域包括ケアシステム推進実施計画を第4期石巻市地域福祉計画に包含し令和4年3月に策定しました。

計画では「いつも自分らしく生きるためにみんなで支え合う地域づくり」を基本理念として、3つの基本目標を立てました。

- 1 身近なことの変化に気づく地域づくり
- 2 人と地域がつながる仕組みづくり
- 3 安心して健やかな暮らしを支える体制づくり

これらの基本目標ごとに掲げた自助・互助・共助・公助の取組を展開することで、地域福祉の推進を図っていきます。



自助

自身や家族による自助努力



互助

隣近所などでの助け合い、地域やボランティアなどによる支え合い



共助

介護保険制度などによる相互扶助

公助

公的な制度によるサービスの供給



☎ 保健福祉総務課 ☎25-6659



石巻市立桜坂高等学校

桜坂だより

第28号

こんにちは、桜坂高等学校です。今回は、4月に行われた桜坂高校第8回入学式と、3月の終業式前に行われた賞状伝達式の様子をご紹介します。

▶ 新入生代表宣誓



石巻市立桜坂高等学校 入学式



4月8日
石巻市立桜坂高等学校第8回入学式が挙行されました。今年度は136人の1年生を迎えました。ようこそ私たちの桜坂高へ！

3月24日

修業式の前の全校集会で、賞状伝達式が行われました。3学期に各種大会などで賞状を頂いた1,2年生へ校長先生から賞状が手渡されました。



Topic of town

まちの話題



北上 健康とにぎわいの拠点完成

多目的広場などが供用



以前より整備を進めていた北上地区多目的広場および北上地区健康づくりパークが3月に完成しました。これらの施設は地域の憩いの場や活動の場として、北上地区の活性化に大きく寄与することが期待されます。完成式では工事関係業者への感謝状贈呈、テープカットがあり、完成式終了後には北上地区健康づくりパークで始球式が行われ、会場は盛り上がりを見せていました。



石巻 マルホンまきあーと野村万作さん親子三代公演

まきあーと1周年記念



マルホンまきあーとテラスの開館1周年を記念した公演「狂言の世界」が3月28日に行われました。人間国宝の野村万作さん(90)が、萬齋さん(55)、裕基さん(22)と親子三代で三番叟と鞆猿を演じました。翌日、万作さんは市役所を訪ねて齋藤市長と懇談。「石巻には特別な思いがある」と話していました。



雄勝 遡上してくる日心待ち

サケ稚魚12万匹放流

3月28日、大原川さけ人工ふ化場で飼育された、サケ稚魚の放流が行われました。震災後、本復旧した施設での2年目の放流になります。近年、サケの親魚の不漁が続いているため、毎年、放流を行っています。この日は12万匹が放流され、今年は合計で41万匹の放流を行いました。稚魚はオホーツク海を目指して大海原へ旅立ち、3~4年後に、雄勝湾へと帰ってきます。今年も大きくなって戻ってくるようお願いを込めて放流しました。



河南 鹿又道の班ポンプ置場が新築

木造2階建て会議室も完備

石巻市消防団河南地区団第3分団の「道的班ポンプ置場」が新築され、3月27日から使用が始まりました。鹿又字道の前に昭和49年に建築された旧ポンプ置場が老朽化したため、市が旧ポンプ置場跡地で新築工事を進めました。新ポンプ置場は木造2階建てで1階は車庫、2階は会議などを行う詰所があり、鹿又地区の消防、防災活動の新たな拠点となります。



桃生 将来は桃の花咲く桃生に

苗木配布で「ももの里」づくり

地域自治組織の「ものう夢ネットワーク」は、「ももの里プロジェクト」と題して、希望団体や個人にハナモモの苗木を配布し、庭先などに植えてもらう取り組みを進めています。桃の花が咲きほころぶ魅力的な地域にするのが目的で、令和2~3年度に計152本を配布しています。4月7日には伊藤桂子会長と若山敬昭事務局長が桃生総合支所を訪れ、植樹された木が桃色の花をつけているのを確かめました。



牡鹿 巨大地震想定し避難訓練

鮎川小で命を守る行動

鮎川小学校で3月10日、全校児童による避難訓練が行われました。授業中に巨大地震が発生し、校舎倒壊のおそれがあると想定。児童は教員と共に校庭に避難し、避難所に指定されている牡鹿保健福祉センターへ徒歩で避難しました。その後、東日本大震災当時の体験談を聴き、何よりも命を守る行動をすること、日々の生活の中で災害が起こった場合の対処方法を考えることの大切さを学びました。

